

業務実績報告書

提出日 2020年1月1日

1. 職名・氏名 教授 佐野一雄

2. 学位 学位 修士、専門分野 商学、授与機関 大阪市立大学、授与年月 S63.3

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 ファイナンス理論(2単位 毎年開講) 3年生	
② 内容・ねらい 統計学の応用分野として、ファイナンス理論について講義している。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ポートフォリオの最適化などの古典的ファイナンス理論をなるべく平易に解説し、最新のトピックを紹介して、学生の興味を惹くように工夫している。	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 経済統計学(2単位 毎年開講) 2年生	
② 内容・ねらい RBCモデル、New IS-LMモデルを講義に加えている。マクロ経済学理論と関連させながら国民経済計算体系について解説し、限界性向と弾力性の問題を中心に、回帰分析の理論と実際を講義している。エクセルによる分析の実演を行っている。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 理論だけではなく、実際のGDP統計のデータを参照しながら、日本のマクロ経済について理解を深められるように工夫している。新しい古典派のマクロモデルを講義している。	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 基礎ゼミ(2単位 毎年開講) 2年生	
② 内容・ねらい 経済学の専門論文に接することで、アカデミックな研究と論文の構成を理解すると同時に、優れた論文の面白さを実感する。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 優れた内容を持ちながら、学生でも理解できる専門論文を探して輪読する。理解が難しい用語や理論については、学生自身が調べることにより、主体的に学習することを目指す。	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 外書講読(2単位 毎年開講) 2年生	
② 内容・ねらい 現代貨幣理論の原書テキストを読むことにより、最新の理論に対する理解を深める。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 先進国のマクロ経済の困難な状況について理論的に考察するための基礎の理解に集中した。	

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 演習 I(4 単位 毎年開講) 3 年生
② 内容・ねらい ゲーム理論について幅広い知識を得る。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生自身の興味を引き出せるように、ゲーム理論に親しめるテキストを選んだ。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 演習 II(4 単位 毎年開講) 4 年生
② 内容・ねらい ゲーム理論についての理解を深める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 演習問題を中心に学んだ。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 統計・計量 I・II(2 単位 隔年開講) 大学院
② 内容・ねらい 統計・計量の数理と基本モデルを学ぶ。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 例題を理解し、出来るだけ練習問題を解かせる。
(2)非常勤講師担当科目
(3)その他の教育活動
3 年生と 4 年生の交流のために懇親会を行った。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 論文 “True Fundamentals Hypothesis: Detecting Bias in the Stock Market”、 SSRN working paper、 2015。 “Inflation Dynamics with Bounded Rationality”、 Journal of Business & Economics、 vol. 6、 no. 1、 2014。 (with Zhao Tang) “Ants、 Traders、 and Fat Tails: An Application of the Kirman(1993) Model”、 SSRN working paper、 2014。 「Mathematica による DGE モデル・シミュレーションー加藤(2007)の Matlab コードを変換してー」、『経済経営研究』第 30 号、2014 年。
② 著書 『ファイナンス理論 15 講』プレアデス出版、2013 年 1 月

③ 学会報告等

「経済統計学をどう教えるか?—経済学理論からのアプローチ—」経済統計学会(2019年)

「市場におけるノイズとバイアス」研究集会「数学の創成:生命と社会の理(ことわり)のために」(2019年)

「マクロ経済学理論とアベノミクス」第11回保守的自由主義研究会(2019年)

「経済学における社会的集団現象にかんする理論と実際」経済統計学会(2016年)

「真のファンダメンタルズ仮説—株式市場におけるバイアスの検出—」行動経済学会(2015年)

「蟻とリーダーとファットテイル—Kirman(1993)モデルの応用—」行動経済学会(2014年)

"Inflation Dynamics with Bounded Rationality"、日本経済学会(2014年)(共同研究、報告者:趙彤、徳島大学総合科学部)

「ニューケインジアンモデルの現状と課題—物価と経済成長の関係をめぐって—」経済統計学会(2013)

④ その他の公表実績

「分配の難しさ」『夢レディオ編集室』vol.56

「平等と公平」『夢レディオ編集室』vol.55

「相手のことを想うゲーム理論」『夢レディオ編集室』vol.54

「囚人のジレンマ」『夢レディオ編集室』vol.53

「Maximin 期待効用」『夢レディオ編集室』vol.52

「エルズバーク・パラドックス」『夢レディオ編集室』vol.51

「ベイズの定理」『夢レディオ編集室』vol.50

「モンティ・ホール問題」『夢レディオ編集室』vol.49

「価値と貨幣」『夢レディオ編集室』vol.48

「貨幣の謎」『夢レディオ編集室』vol.47

「ビッグデータと人工知能」『夢レディオ編集室』vol.46

「物価水準の財政理論 FTPL」『夢レディオ編集室』vol.44

「ベーシックインカム」『夢レディオ編集室』vol.43

「マイナス金利」『夢レディオ編集室』vol.42

「消費と労働」『夢レディオ編集室』vol.41

「自由化」『夢レディオ編集室』vol.40

「不思議の国のポリティクス」『夢レディオ編集室』vol.39

「幸福のパラドックス」『夢レディオ編集室』vol.38

「付加価値」『夢レディオ編集室』vol.37

(2)学会活動等

経済統計学会、行動経済学会

学会での役職など

学術雑誌の査読を依頼されることがある

学会・分科会の開催運営

経済統計学会第60回(2016年度)企画セッション「セオリーオリエンテッド・リサーチとしての社会統計学」のコーディネーターと座長を務めた。

(3)研究会活動等

① その他の研究活動参加

② その活動による成果

(4)外部資金・競争的資金獲得実績

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会
②国・地方公共団体等の調査受託等
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加 NPO 法人「たんなん夢レディオ」理事
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥その他
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講
② 社会人・高校生向けの講座 毎年、県内の高校の入試説明会で、県立大学経済学部を紹介している。
③ その他
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
自治会活動に参加している。

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動
学生支援委員、保健管理センター運営委員
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など